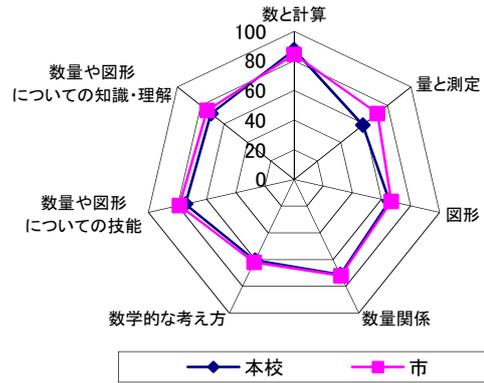


宇都宮市立海道小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	87.4	84.3
	量と測定	58.9	71.3
	図形	65.3	66.7
	数量関係	71.2	72.1
観点別	数学的な考え方	60.5	62.0
	数量や図形についての技能	74.6	78.8
	数量や図形についての知識・理解	71.2	74.6



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○宇都宮市と比べ平均正答率は高い。分数のかけ算・わり算については、ほぼ100%の正答率であった。しかし、分数と小数の乗法と除法の混じった計算については、市の平均正答率をやや下回った。	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きドリル学習や基礎基本問題の練習を繰り返し、習熟を図っていく。 分数と小数の意味を理解した上で、約分について再度おさえながら、分数と小数の乗法と除法の混じった計算の練習をしていく。
量と測定	○宇都宮市と比べ平均正答率は大きく下回った。面積や体積を求めたり、速さに関する問題についての正答率が低かった。	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な図形の面積や体積の求め方を再度確認し、正しく求められるように練習していく。 問題から速さ・時間・道のりの関係についてイメージしながら考えるように、問題場面を図式化できるように指導する。
図形	○宇都宮市と比べ平均正答率はやや下回った。三角柱や円柱についての問題が低かった。	<ul style="list-style-type: none"> 角柱や円柱の特徴をおさえるとともに、どちらも、底面積と高さの積で求められることを再度確認する。 見取り図や展開図についても復習し、立体を多面的に見取る力を養えるようにする。
数量関係	○宇都宮市と比べ平均正答率はやや下回った。割合を求める問題の正答率は高かった。また、比較量の求め方を理解し、必要な資料を見て、計算しなして結論を導くことができる理由を説明する問題では、市の正答率を上回っていた。しかし、比例・反比例に関する問題の正答率は低かった。	<ul style="list-style-type: none"> 割合や比、比例・反比例すべての基本となっている、もとにする量と比べる量の関係についての理解を深める。